

特別会計当初予算

単位：千円、△減額

会計名	20年度 当初予算	19年度 当初予算	比較 増減	説明
国民健康保険	398,420	430,064	△ 31,644	医療費は増加しているが、税は据え置き基金(1,402万円)を充てる、75歳以上(700人)は後期高齢者医療保険へ
老人保健	71,350	850,056	△ 778,706	後期高齢者医療保険に制度が移行するため大幅に減額、医療給付費(3年間必要)
介護保険	584,198	548,834	35,364	施設利用者が増加傾向にあり、地域密着型介護サービスの増加による
後期高齢者医療保険	62,449	0	62,449	75歳以上が対象、老人保健から制度を継承し、4月1日スタート
簡易水道	106,952	160,322	△ 53,370	黒坂地区簡易水道の工事完了に伴い大幅に予算減額、維持管理、起債償還
公共下水道事業	141,508	144,171	△ 2,663	消費税等の納税額の減額によるもの施設の維持管理、起債償還など
農業集落排水事業	70,725	67,340	3,385	起債の償還の増加によるもの施設の維持管理など
合計	1,435,602	2,200,787	△ 765,185	

討論

一般会計

反対討論

佐々木 求議員

厳しい財政状況が続いている中で、子育て支援や固定資産税の同和減免の解消への努力など、一定の前進がみられることは評価します。

しかし、隣保館関連の社会福祉施設費や地域改善対策費、社会同和教育費等合わせて、一千七百八十万円の予算が計上されている。

部落解放同盟下榎支部補助金八十万円は、減額になっていません。

これらの改善を図らなければ、真の財政再建にならないと考えます。町民が一致協力して、財政再建を進めていく上で、決定的弱点であり、以上のことから反対の討論とします。

賛成討論

竹永 明文議員

平成十八年度・十九年度の成果を踏まえ、平成二十年度は、何とか黒字にしようという意気込みの入った予算です。限られた財政の中で弱者に対して配慮された予算なので賛成の討論とします。

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計の三特別会計について

反対討論

佐々木 求議員

賛成討論

小谷 博徳議員